亀田ニュース

2019
No.926
11月15日号

●〒296-8602 千葉県鴨川市東町929　●TEL04(7092)2211㈹　●発行責任者 亀田隆明　●作成 広報企画室　●毎月1日・15日発行

がん就労支援講演会開催

10月19日(土)午後,「がん就労支援講演会」が亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホールにて開催されました。

近年,がん患者さまの就業継続問題がクローズアップされています。「治療と就労の両立支援」は働き方改革関連法にも記載されており,がん患者さまの就労支援を積極的に行う企業も増えてきています。

そこで今回は,「がんと診断されても働き続けるために」と題して,第1部では当院薬剤部の塚田麻実薬剤師が,「副作用は何とかなる?」というテーマで,抗がん剤治療の副作用と上手に付き合う方法を紹介しました。また第2部では,佳子社労士事務所所長の宮沢佳子特定社会保険労務士を講師にお招きし,「がんになっても自分らしく働き続ける」というテーマで,治療と就労の両立を支える法律やお金のことについて事例を交えつつお話しいただきました。

今年で5年目を迎えた同講演。がんになっても就労継続ができる方法を,医療者・患者・社会保険労務士それぞれの立場から共に考える貴重な時間となりました。

市民フォーラム テーマ:「インプラントのホント」

台風19号の接近により延期となりました,当院歯科口腔外科の松田博之歯科医師による「デンタルインプラント(人工歯根)」をテーマにした市民フォーラムは,11月30日(土)に開催日が変更となりました。受講を希望される方は11月23日(土)までにFAXまたは電話にて下記までお申込みください。(定員80名,参加費無料)

■日時:11月30日(土) 13:00～15:30
■場所:亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール
■お申込み・お問い合わせ先:
亀田総合病院 カスタマーリレーション室
TEL:04-7099-1230／FAX:04-7099-1231

インフルエンザ 予防接種はお済みですか?

毎年,冬から春はインフルエンザの流行シーズンです。亀田クリニックでは12月27日(金)までインフルエンザの予防接種を実施しています。

流行前に予防接種を受けることで,インフルエンザを発症する可能性を減らし,もし発症しても重症化を防ぎます。ワクチン接種から実際に効果を発揮するまで2週間程度かかるため,お早めの接種をご検討ください。

■予約センター:04-7099-1111(8:00～17:00,日曜・祝日除く)

便失禁に関する無料電話相談

便失禁でお悩みの方に,治療法を含む適切な情報を提供する目的で,毎月,専門医による無料電話相談を下記のとおり実施しています。

■日時:11月20日(水),12月4日(水)・25日(水)
14:00～16:00
■電話番号:04-7099-1206(直通)
■対応者:角田明良医師,高橋知子医師

〔自動再来受付機〕バーコード付き予約票でも受付可能に

亀田クリニックでは,「自動再来受付機」(以下,受付機)を1階薬局脇に設置しておりますが,ID読み取りの方法が,これまでの診察券に加えて,バーコード付き予約票でも可能になりました。

【操作方法】

診察券を読み込ませる代わりに,予約票左上に印字されたバーコードを受付機の右中央部の光にかざして読み取らせてください。受付機がバーコードを読み取ると,「ピッ」と音がしますので,その後は画面の表示に従って操作してください。

なお,クリニック受診時に診察券が不要になったわけではありません。診察券はこれまでどおりお持ちくださいますようお願いいたします。

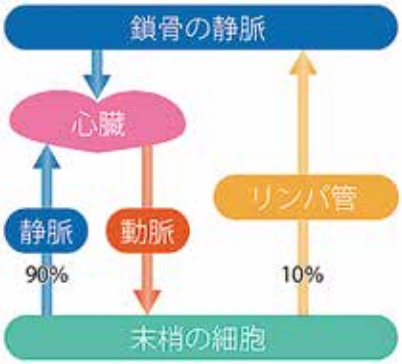
第1話　むくみとは？

この連載では，リンパ浮腫に関する基礎的な知識や治療法を，最新の知見や世界の動向も交えながらご紹介していきます。

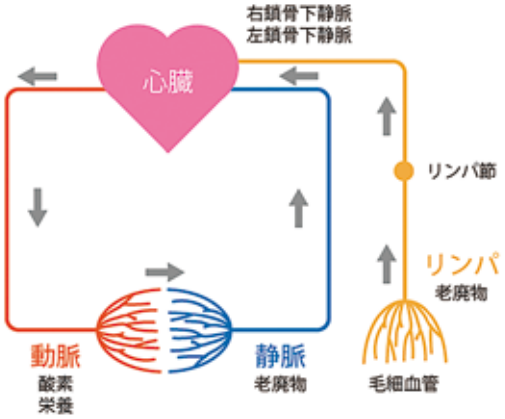
血管系とリンパ管系の違いを知ろう

ヒトの体液の循環は，主に動脈・静脈，リンパ管が担っていることが知られています。それぞれ血管系，リンパ管系と呼ばれています。

まず，血管系では動脈が毛細血管に移行し，約90％が直接静脈に流入して循環します。こちらは，おそらく学校などで『心臓から送り出されるきれいな血液が流れる血管を動脈，全身から心臓にもどってくるよごれた血液が流れる血管を静脈といいます』と習うことが多いので馴染みがあるかもしれません。



一方で，リンパ管系ですが，静脈（毛細静脈）に回収されなかった残り約10％の体液は，間質液と呼ばれる液体となり全身の隅々でリンパ管に吸収されます。この吸収された間質液がリンパ液であり，リンパ管の中を通り合流を繰り返し太くなっていきながら，静脈と同様に心臓の近くまで戻っていきます。さらに，心臓の近くの“静脈角”と呼ばれる場所で，リンパ管は静脈に流入し，体液の循環に戻っていきます。リンパ液は，成人で約1リットル/日の流量があり，体液の循環において大きな役割を担っています。



「腫れ」と「むくみ」は，体表に起こる変化として使われますが，病態は全く別のものであり，先ほど説明した血管系とリンパ管系の違いを理解するとわかりやすくなります。

腫　れ：血液成分が血管の外で貯留してしまい，体積が増加した状態になること。医学用語では，“腫脹”と呼びます。

むくみ：①血管系・心臓の循環機能や腎臓の排尿機能が低下して，体に水分がたまり膨れた状態になること。
②過剰なリンパ液がリンパ管の外で回収されずに貯留してしまい，結果として膨れた状態になること。
医学用語では，これらを“浮腫”と呼びます。

腫れやむくみの原因は様々なものがありますが，がんの手術や治療の影響でリンパ機能の低下を起こし，それが原因となって腕や足のむくみが起きる状態になることを，（がん術後の）リンパ浮腫と言います。

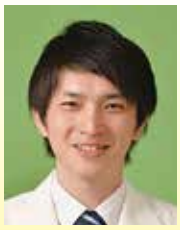
「リンパ浮腫外来」では，がんの手術後の上肢，下肢のしびれやむくみを感じている患者さまを対象に，リンパ浮腫専門外来の医師が，リンパ浮腫の予防や治療の相談を行っております。

予約センター：04-7099-1111（亀田クリニック）

医師紹介

はやし　林　あきたつ　明辰　医師

①担当科目
②診療における得意分野
③趣　味
④ひと言



①乳腺科（医長）
②がん術後リンパ浮腫，マイクロサージャリー，スーパーマイクロサージャリー
③映画鑑賞，料理，LEGO
④がん治療後のむくみやしびれ，違和感でお困りの方は，ご相談ください。エビデンスに基づいた低侵襲かつ安全な治療で，リンパ浮腫の増悪予防，QOL向上に全力で取り組みます

Kameda Medical Center

亀田ホームページ　http://www.kameda.com